

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月26日

計画の名称	砺波市における広域的な交流基盤の整備による活力ある地域づくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	砺波市												
計画の目標	砺波駅前広場の利用者の安全性及び利便性の向上、並びに空間全体の質的向上を行うとともに、砺波市の玄関口としてふさわしい駅前広場施設の再整備により、活力ある地域づくりを行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	200	A	200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	砺波駅周辺の主要施設の年間利用者数を449,379人/年(H27)から459,571人/年(H31)に増加 砺波駅周辺施設の主要施設の年間利用者数	449379人/年	人/年	459571人/年
2	年々減少傾向にある城端線の利用者数を増加させ、平均利用者数を2,200人/日(H31)とする 城端線の1日平均利用者数	2157人/日	人/日	2200人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
現計画「砺波市における広域的な交流基盤の整備による活力ある地域づくり」H27~H29(3箇年)をH31まで2年間延長(期間の変更)するもの												

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 砺波市建設水道部都市整備課	事後評価の実施時期 令和2年5月
	公表の方法 砺波市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	砺波駅前広場施設の再整備により、通路の段差解消、滑りにくいタイル舗装などユニバーサルデザインに配慮し、またイベント広場としての活用など賑わいを創出したことから、駅利用者の安全性・利便性が図られ、定量的指標に対して効果が発現されていると考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後とも、交通結節点としての機能強化及び市民の交流や賑わいの創出を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりに努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	砺波駅周辺主要施設の年間利用者数の増加	
	最終目標値	459571人 / 年
	最終実績値	464657人 / 年
2	砺波駅利用者数の増加	
	最終目標値	2200人 / 日
	最終実績値	2401人 / 日

